

2025

環境 報告書

ENVIRONMENTAL REPORT
～関連するSDGsへの取組について～



ENEGATE

私たちは持続可能な開発目標
(SDGs) を支援しています。



目 次

1. ごあいさつ
 2. 品質・環境方針
 3. 持続可能な地球環境の改善に向けた取組み
 - (1) 環境活動推進体制
 - (2) ISO14001 認証取得
 - (3) SDGs との関連
 4. 主な環境行動指針の具体的展開
 - (1) ライフサイクルを視点に入れ、地球環境負荷の改善に資する製品の開発、資材の購入、有害化学物質の削減により環境リスクを低減します。
 - (2) 省エネルギーの推進並びに再生可能エネルギーを有効利用します。
 - (3) 4R(使用回避、省資源、再使用、再生利用)を推進し、廃棄物を削減します。
 - (4) 環境保全活動を通じて地域社会に貢献します。
 5. 2025年度 環境の取組み
 6. 2050カーボンニュートラルを目指して
- (参考) さらに環境貢献型企業を目指して



1. ごあいさつ

スマート技術と柔軟な発想で、人と
社会の未来に役立つモノづくりを



代表取締役社長
廣田 禎秀

当社は、1914年の創業以来、電力量計、キュービクル、配電盤、配電自動化機器など、電力の安定供給を支える製品を提供し、電気事業の発展に貢献してまいりました。その過程において、自らの事業活動による環境負荷低減に取り組んでおり、2006年に環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得しました。それ以降も、脱炭素社会の実現に寄与することをめざし、非化石エネルギー（原子力発電や太陽光発電等の再生可能エネルギー）の拡大、電気自動車（EV）の普及等による電気エネルギーへのシフトおよびエネルギーマネジメントシステム（EMS）による電気の効率的利用に大きく貢献してまいりました。

現在では、創業以来のコア技術を発展させた独自の技術により、2025年度本格導入予定である第2世代スマートメーターをはじめ、EV充電システムおよびBEMS・HEMSなどの脱炭素に貢献できる新たな付加価値商品の開発・製造・販売に取り組んでおります。また、関西電力グループ各社と連携して「大阪・関西万国博覧会」へスマートポールおよびスマートキュービクル（MMCub）などスマートグリッド実現に向けた検証設備を提供するなど、今後のエネルギー事業を支える最新の技術開発にも積極的に取り組んでいます。加えて、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に積極的に貢献しており、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「気候変動に具体的な対策を」および「つくる責任つかう責任」を重点的に推進しております。

今後とも、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、当社が果たすべき役割と責任を認識し、経営の最優先課題と位置づけ、地球環境の改善に貢献し続けたいと考えております。



2. 品質・環境方針

【理念】

当社は、脱炭素社会の実現とお客さま満足度の向上をめざし、環境に配慮した製品の開発や電力の安定供給をサポートするとともに、品質と関連技術の向上に努め、持続可能な社会の発展に貢献します。

【行動指針】

エネルギーソリューションカンパニーとしてSDGsを推進し、「安全第一」、「お客さま第一」、「環境負荷低減」で品質・環境活動の継続的改善に努め、お客さまに選ばれる製品・サービス・メンテナンスを提供します。そのため、行動指針を次のとおり定め、品質・環境方針を社外へ公開するとともに、事業マネジメントと連携を強化し実行します。

1. 法令・規制の順守はもとより、お客さまをはじめとする利害関係者の要求事項を満たすとともに、非常事態に備えた対応を強化し、品質・環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
2. リスクおよび機会を考慮した品質・環境目標を定め、品質・環境活動の具体的展開を図り、その達成に努めます。
3. お客さま満足度の向上や環境影響を軽減するため、次の活動を推進します。

《品質》

- ①お客さまの要望を継続的に収集し、迅速かつ丁寧に対応します。
- ②品質改善活動の活性化に努め、全従業員の品質意識の高揚と技術・技能の向上を図り、製品・サービスの品質水準を確保します。
- ③お客さまへの影響評価や、事業へのリスクマネジメントを行い、万一の不良発生時、迅速な対応と再発防止を図ります。

《環境》

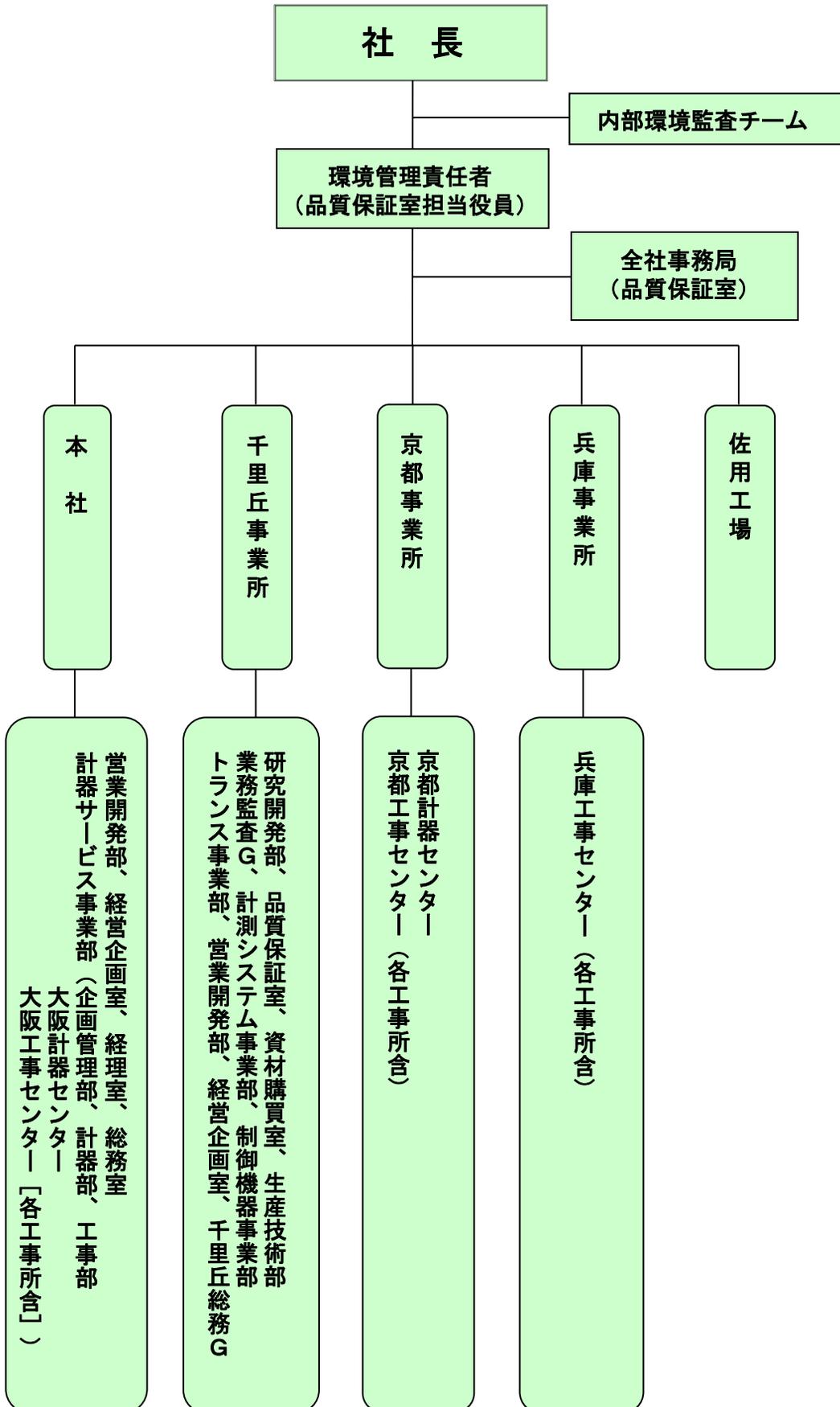
- ①ライフサイクルを視点に入れ、地球環境負荷の低減に資する製品の開発、資材の購入、有害化学物質の削減により環境リスクを低減します。
- ②省エネルギーの推進並びに再生可能エネルギーを有効利用します。
- ③4R(使用回避、省資源、再使用、再生利用)を推進し、廃棄物を削減します。
- ④環境保全活動を通じて地域社会に貢献します。



3.

持続可能な地球環境の改善に向けた取り組み

(1) 環境活動推進体制



(2) ISO 14001 認証取得

《環境活動を支える環境マネジメントシステム》

当社は、本社を含む全ての事業所および工場において、2006年8月28日にISO 14001を認証取得しました。

環境マネジメントの運用にあたり、事業プロセスとの統合を図るため、経営方針から「品質・環境方針」を設定しました。これら方針と整合したリスクと機会への取組み並びに環境目標達成に向けた活動を実施しています。

具体的には、環境関連法令の順守や環境目標については月次管理（実績把握と評価）しながら、達成に向けて全社一丸となって取り組んでいます。

また、これらの活動結果については、環境管理責任者へ報告するとともに、マネジメントレビューで社長へ報告しています。レビューの結果、改善を要することがあれば、社長より改善指示が出され、速やかに改善処置を実施しています。

今後は、SDGs（持続可能な開発目標）の国際的な潮流を踏まえつつ、PDCAサイクルによる改善を進め、環境経営の強化に取り組んでいきます。

【登録番号：E05-146】

 OISC ISO 14001	 JAB MS CM033
<h2>登録証</h2>	
株式会社エネゲート 大阪府大阪市北区大淀北1丁目6番110号	
登録範囲 電気エネルギーの計量・計測・監視・制御システムの製造・販売・エンジニアリング・サービス	
通用規格 ISO 14001:2015・JIS Q 14001:2015	
<small>OISC 環境マネジメントシステム審査登録制度に基づく審査の結果、上記並びに付属書記載範囲において通用規格に適合していることを証します。</small>	
登録番号：E05-146	 株式会社 国際規格認証機構 <small>大阪府大阪市中央区北久宝寺町一丁目4番15号</small>
登録日：2006年8月28日 更新日：2024年7月7日 有効期限：2027年7月6日	代表取締役社長 上級経営管理者 井上 雅之 <small>井上 雅之</small>

 OISC ISO 14001	 JAB MS CM033
<h2>登録証付属書</h2>	
株式会社エネゲート 大阪府大阪市北区大淀北1丁目6番110号	
本社 大阪府大阪市北区大淀北1丁目6番110号 <small>【電力累計の組込み及び取替工事、受電設備関連の工事・メンテナンス、省エネ関連機器の販売】</small>	
千里丘事業所 大阪府摂津市千里丘3丁目14番40号 <small>【電力累計・計測関連機器・省エネ関連機器の製造・販売、受電設備及び監視・制御システムの製造・販売・取替工事、変流器・変圧器の製造・販売】</small>	
京都事業所 京都府京都市南区上鳥羽石橋町201番地 <small>【電力累計の組込み及び取替工事】</small>	
兵庫事業所 兵庫県明石市魚住町清水177番地4号 <small>【電力累計の取替工事、受電設備関連の工事・メンテナンス】</small>	
佐用工場 兵庫県佐用郡佐用町長尾字清水の元925番地 <small>【電力累計・計測関連機器の製造】</small>	
登録番号：E05-146	 株式会社 国際規格認証機構 <small>大阪府大阪市中央区北久宝寺町一丁目4番15号</small>
登録日：2006年8月28日 更新日：2024年7月7日 有効期限：2027年7月6日	代表取締役社長 上級経営管理者 井上 雅之 <small>井上 雅之</small>
<small>本書は登録組織のサイト情報ですので、登録証と合わせてご覧ください。</small>	

(3) SDGsとの関連



エネゲートは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



環境に関するエネゲートの取組み

環境行動指針	取組み項目	関連するSDGs
ライフサイクルを視点に入れ、地球環境負荷の改善に資する製品の開発、資材の購入、有害化学物質の削減により環境リスクを低減します。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した製品の開発 ・環境に配慮した製品の販売 ・環境に配慮した資材の購入 	  
省エネルギーの推進並びに再生可能エネルギーを有効利用します。	<ul style="list-style-type: none"> ・消費電力量 ・ガソリン使用量 ・太陽光発電の推進 	  
4R(使用回避、省資源、再使用、再生利用)を推進し、廃棄物を削減します。	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物排出量 ・水の使用量 ・コピー用紙の購入量 	   
環境保全活動を通じて地域社会に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> ・2025大阪・関西万博への貢献 ・環境イベントへの出展 ・会社周辺の清掃活動 ・敷地内緑化の推進 	     



4. 主な環境行動指針の具体的展開

(1) ライフサイクルを視点に入れ、地球環境負荷の改善に資する製品の開発、資材の購入、有害化学物質の削減により環境リスクを低減します。

①環境に配慮した製品の開発(エネルギーマネジメントシステム)

3

すべての人に健康と福祉を

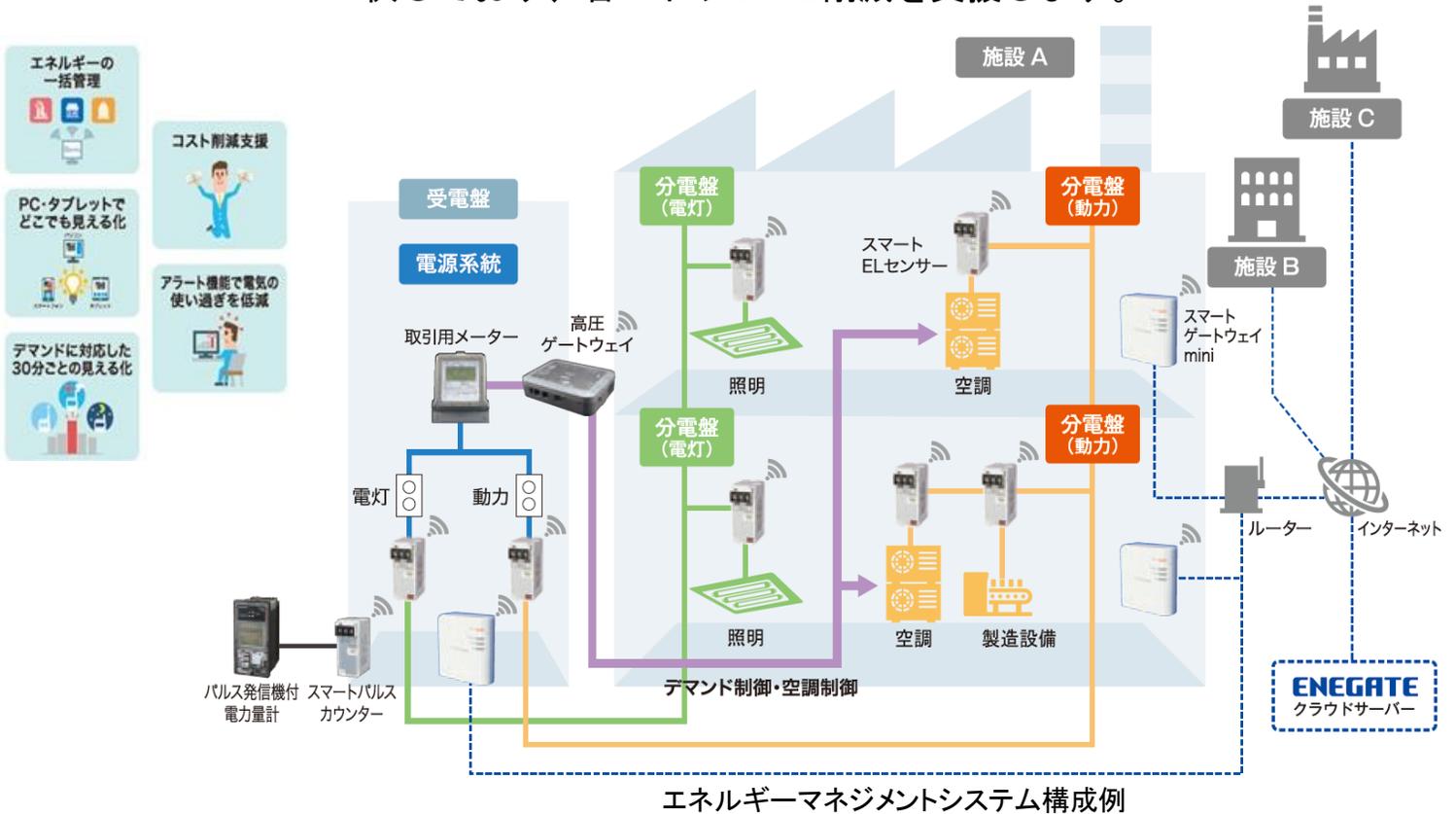
9

産業と技術革新の基盤をつくろう

12

つくる責任 つかう責任

電気の使用状態を継続的に計測し、データを統括箇所で一元化、各施設で「見える化」「監視」をすることができます。規模や設備、ニーズに応じた最適なエネルギーマネジメントシステムを提供しており、省エネやCO₂削減を支援します。



②環境に配慮した製品の販売 (EV充電システム)

3

すべての人に健康と福祉を

9

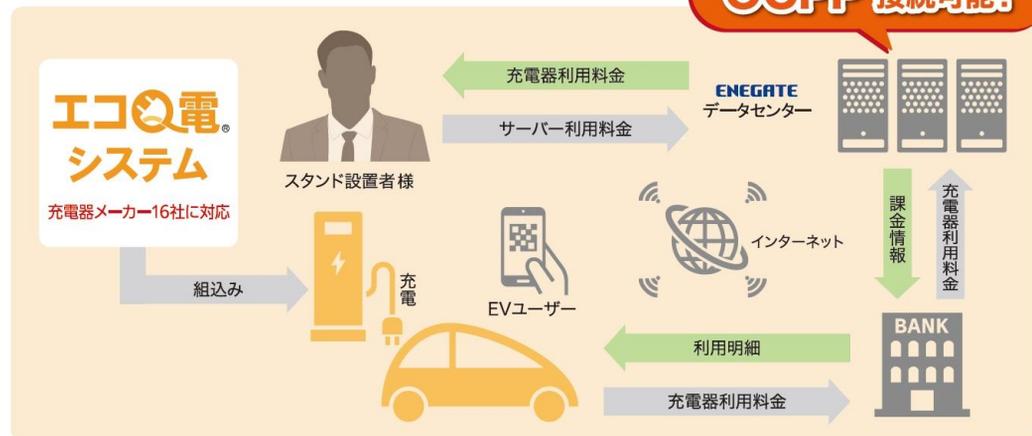
産業と技術革新の基盤をつくろう

12

つくる責任 つかう責任

スマートフォンやフェリカで簡単に操作できる電気自動車向け充電システム「エコQ電システム」を開発・販売しています。また他の充電事業者との連携により、お客さまの利用拡大を図っています。

OCPP 接続可能!



※「OCPP」
 ・Open Charge Point Protocolの略。
 ・EV充電設備と管理/運用システム間の通信を行うための国際標準通信プロトコルであり、充電器の稼働状況などをリアルタイムで監視し、充電インフラを効率的に運用することができます。
 ・2025年度からOCPP対応充電器が補助金交付の要件となります。

エコQ電システム

③環境に配慮した資材の購入

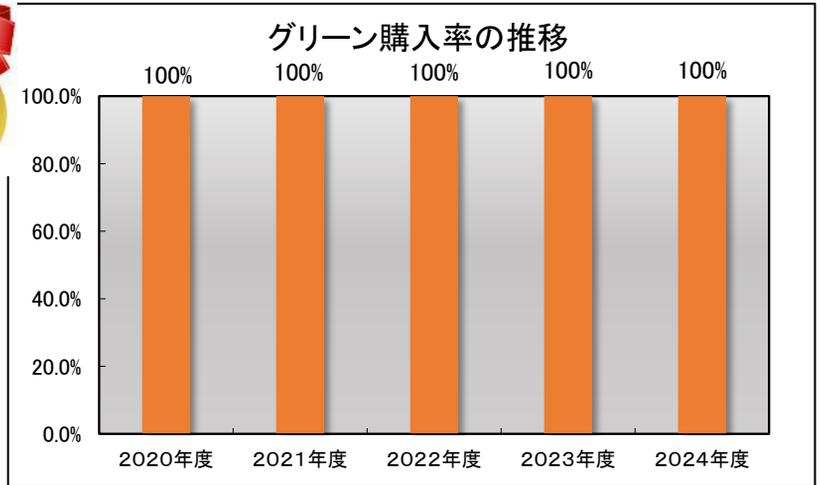


3 すべての人に
健康と福祉を

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう

12 つくる責任
つかう責任

グリーン購入率100%を15年間継続して達成することができました。



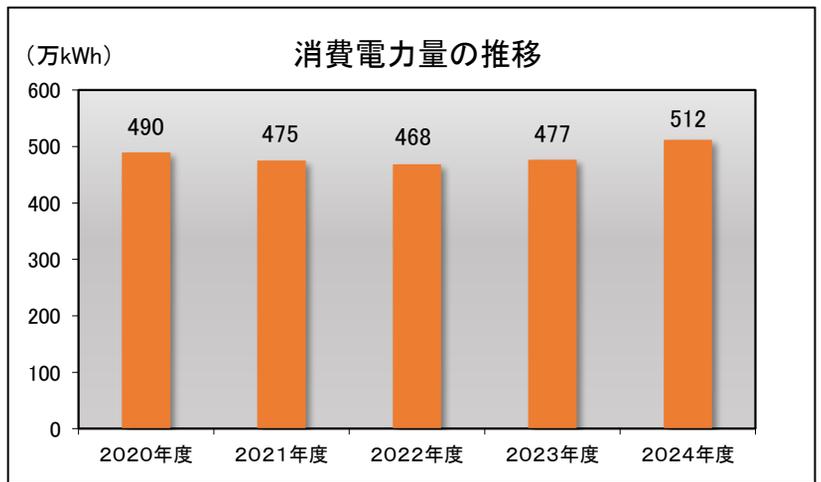
(2) 省エネルギーの推進並びに再生可能エネルギーを有効利用します。

①消費電力量

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

13 気候変動に
具体的な対策を

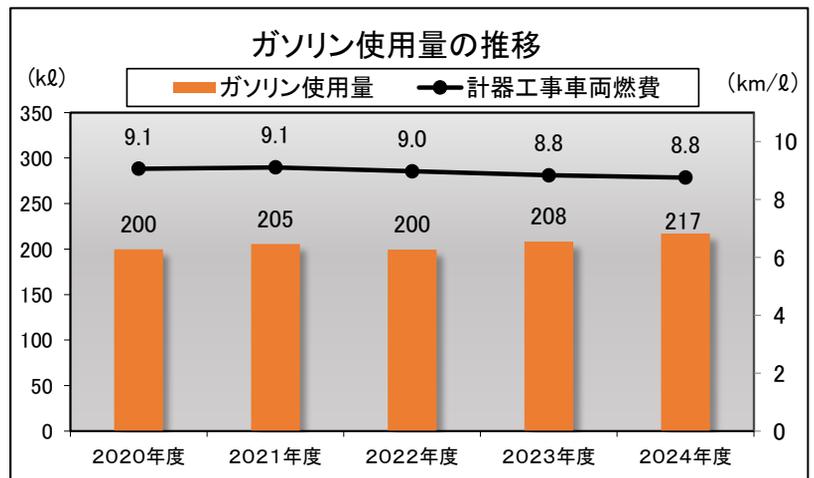
クールビズ、ウォームビズの推進等により消費電力量の削減に努めましたが、寒暖の影響や生産量増により512万kWhとなり対前年で増となりました。今後も高効率機器の導入や省エネ関連システムの構築により、消費電力の削減に取り組めます。



②ガソリン使用量

12 つくる責任
つかう責任

エコドライブの推進や電動車の利用に努めましたが、業務量増に伴って走行距離が増えたため、使用量は昨年度より9kℓ増の217kℓとなりました。今後も更なる電動車の導入とエコドライブの推進に努めます。



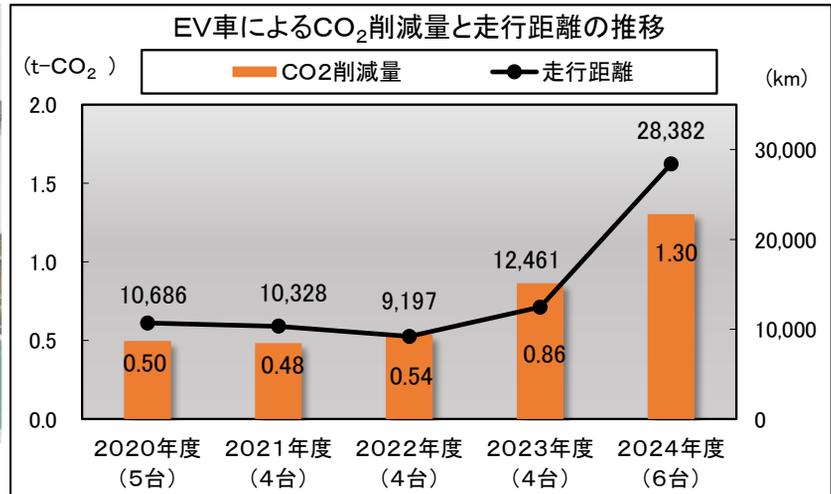
車種	保有台数	電動車数	比率	備考
普通乗用	23	22	95.7%	EV:4台、PHEV:2台、HV:16台
普通貨物	16	2	12.5%	HV:2台
軽乗用	4	0	0.0%	
軽貨物	256	0	0.0%	計器工事車両
合計	299	24	8.0%	EV:4台、PHEV:2台、HV:16台、HV:2台

《EV車の利用》

関西電力グループの「ゼロカーボンロードマップ」に従い、2030年までに社有車の100%電動化を目指しており、2024年度は新たに2台のEV車を導入しました。



EV車と充電(V2H)システム



③太陽光発電の推進



2024年度は、千里丘事業所の本館屋上および東館屋上に太陽光発電パネル(15kW)を新たに設置しました。今後も積極的に設置を進め、更なるCO₂排出量削減に取り組みます。

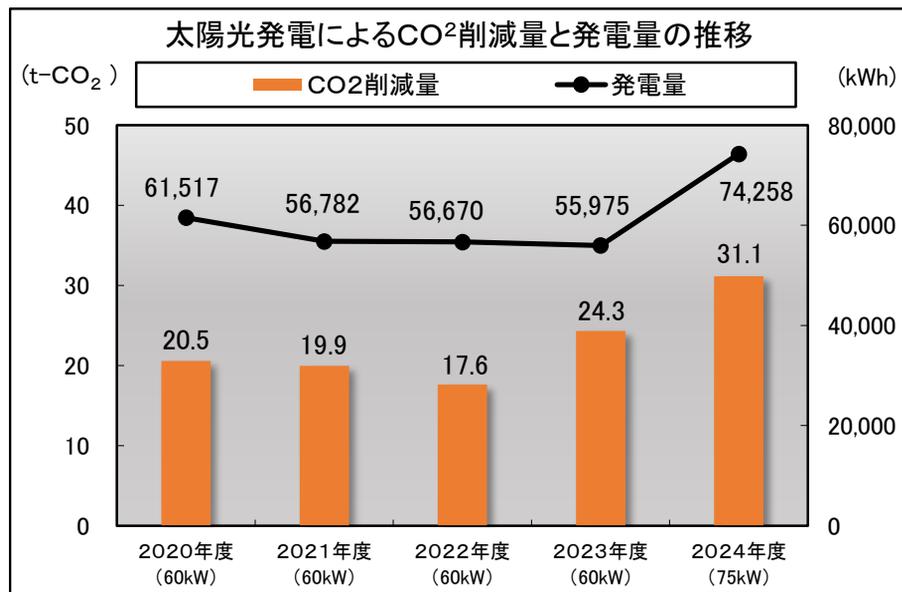
〔太陽光発電パネル〕



千里丘事業所 本館屋上



千里丘事業所 東館屋上



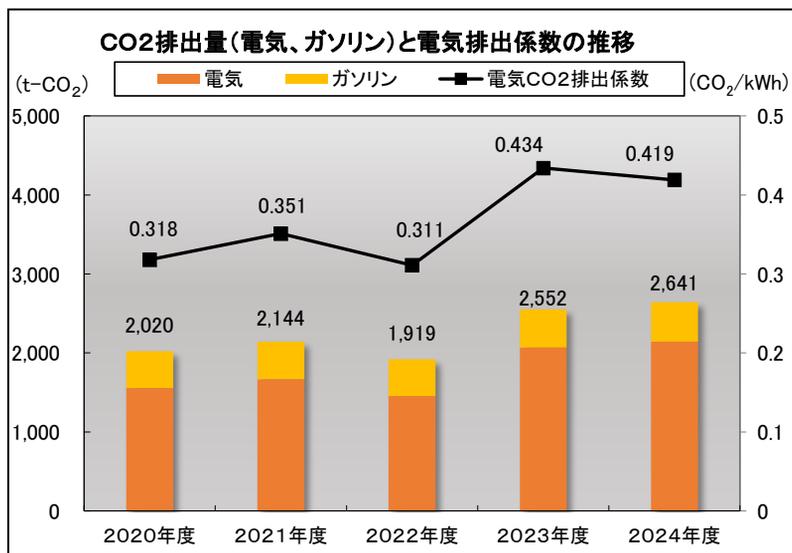
(2024年3月末時点)

事業所	設置数	定格出力 (kW)
千里丘	9	44
平野	1	18
寝屋川	1	13
合計	11	75

《当社のCO₂排出量の推移（Scope 1、2）》



当社の2024年度のScope1と2に関するCO₂排出量は、業務量増を反映し増加となりました。



CO₂ 排出係数

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
ガソリン	Kg-CO ₂ /ℓ	2.32	2.32	2.32	2.32	2.29
電気	Kg-CO ₂ /kWh	0.318	0.351	0.311	0.434	0.419

【出典】

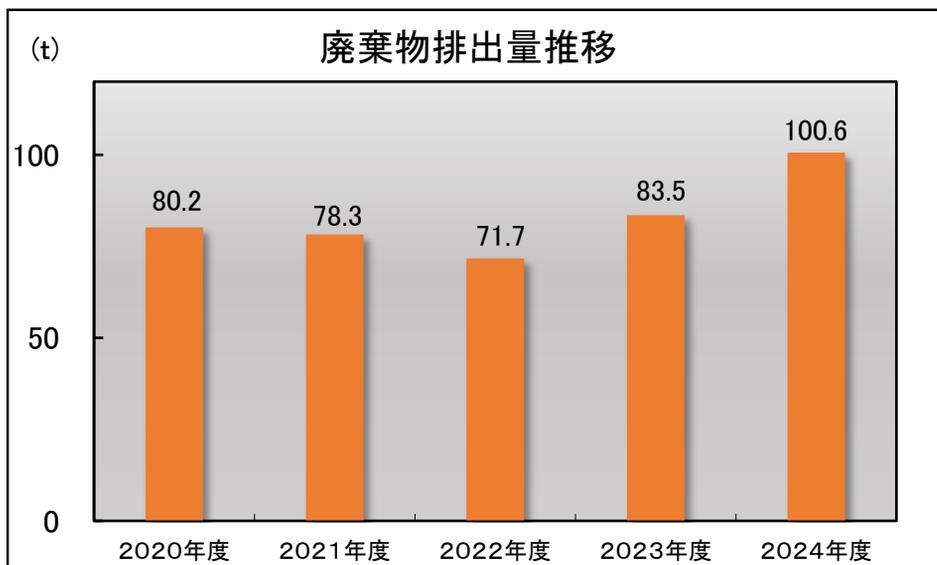
電 気：関西電力㈱
 二酸化炭素排出係数（クレジット反映後）
 ガソリン：環境省資料揮発油（ガソリン）の排出係数
<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/gel/ghg-guideline/search/pdf/sankou.pdf>

（3）4R(使用回避、省資源、再使用、再生利用)を推進し、廃棄物を削減します。

①廃棄物排出量



廃棄するプラスチックや金属屑のリサイクル化を推進して廃棄物削減に取り組んでいますが、生産量の増加に伴い2024年度の排出量は100.6tと増加となりました。今後も4R活動の更なる推進や分別方法の見直しなどに力をいれ、廃棄物の削減に取り組めます。

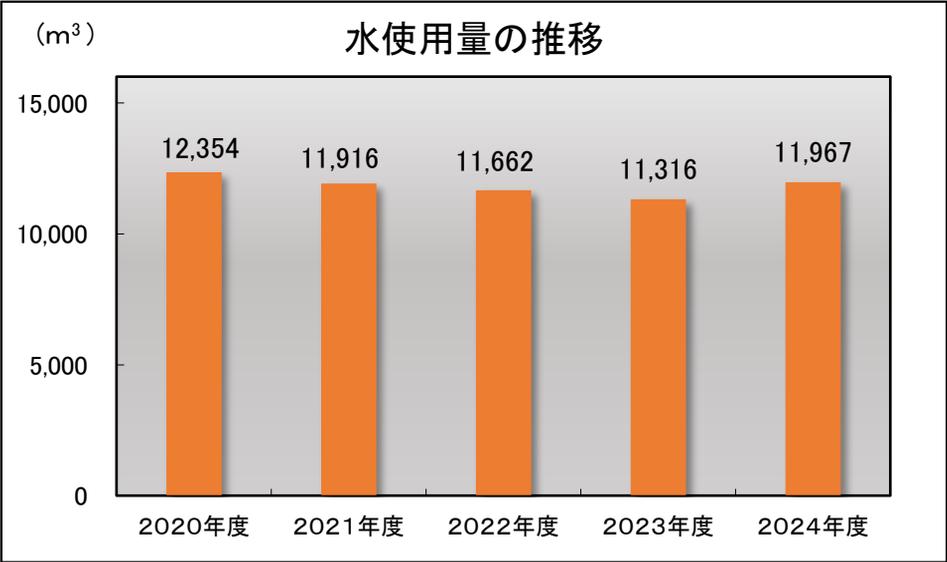


プラスチックパレットのリサイクル

②水の使用量



雨水の積極的な活用等の節水施策を推進していますが、2024年度の使用量は、人員や業務量の増および建物解体時の散水の増などにより、11,967m³と増加となりました。今後も、節水施策の継続的な取組みを実施します。



雨水を樋から収集

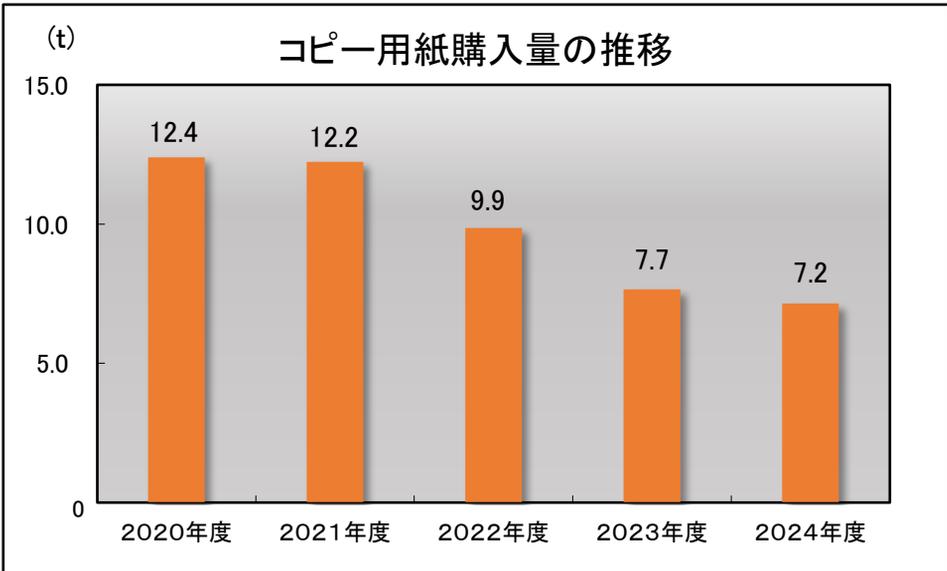


雨水の活用 (兵庫事業所)

③コピー用紙の購入量



2025年度までにコピー用紙購入量50%削減(2021年度比)を目標に取り組んでいます。2024年度の使用量は7.2tとなっており、2021年度比で41.5%の削減ができています。今後は2025年度の50%削減の達成だけでなく、DX化によりさらなる削減を進めていきます。



(4) 環境保全活動を通じて地域社会に貢献します。

①2025年大阪・関西万博への貢献

MMCub(エムエムキューブ)※が大阪・関西万博の電力館の受電設備として採用されました。このMMCubは、人間の五感(味覚を除く)に代わる各種センサ、IoT機器といった最新技術を組み込み、電気保安のスマート化に寄与するキュービクルです。

※商標登録第6808377号(T6808377)



万博会場のMMCub

②環境イベントへの出展



EV充電サービスやエネルギーマネジメントシステムを中心に展示を行いました。多くの方が来訪され、高い関心を示されました。今後も積極的に展示会などに出展し、脱炭素に貢献する製品作りに活かしていきます。



ENEX2025 第50回地球環境とエネルギーの調和展 (東京ビックサイト:2025年1月29日~1月31日)

③会社周辺の清掃活動



各事業所で、周辺の清掃など、地域の美化活動を継続的に実施しています。



本社周辺



千里丘事業所周辺



京都事業所周辺



兵庫事業所周辺



佐用工場周辺

④敷地内緑化の推進



各事業所で緑化を推進し、CO2削減に努めています。



千里丘事業所の植樹



兵庫事業所入口の花壇



2025年度 環境の取組み

環境行動指針	取組み項目	内容
ライフサイクルを視点に入れ、地球環境負荷の改善に資する製品の開発、資材の購入、有害化学物質の削減により環境リスクを低減します。	・環境に配慮した製品の開発	・RoHS指定適合品の選定 ・省電力化、小型化、軽量化の定着
	・環境に配慮した製品の販売	・営業活動の強化と販路拡大
	・環境に配慮した資材の購入	・グリーン購入の徹底
省エネルギーの推進並びに再生可能エネルギーを有効利用します。	・消費電力量の削減	・エネルギーマネジメントシステムの活用 ・冷暖房温度の適正管理
	・ガソリン使用量の削減	・HV車の導入 ・エコドライブ10の実践 ・EV車の積極的利用
	・太陽光発電の推進	・発電設備の増設推進
4R(使用回避、省資源、再使用、再生利用)を推進し、廃棄物を削減します。	・廃棄物排出量の削減	・4Rの推進 ・分別廃棄の徹底 ・リサイクル業者の開拓
	・水の使用量の削減	・自動水栓の採用 ・雨水の活用
	・コピー用紙の購入量の削減	・DX化の推進 ・会議資料の電子化 ・電子りん議の活用
環境保全活動を通じて地域社会に貢献します。	・2025大阪・関西万博への貢献	・MMCubの設置 ・スマートポールの活用
	・環境イベントへの出展	・展示会等への積極的出展
	・会社周辺の清掃活動	・定期的な実施
	・敷地内緑化の推進	・植樹の実施と管理

わが家でもできること

- | | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気の削減 ・ 水道水の削減 ・ ガソリンの削減 ・ ごみの減量 ・ その他 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンは適正温度で利用する ・ 蛇口はこまめに閉める ・ ふんわりアクセル「eスタート」 ・ 食べ残しをなくそう ・ マイバッグ・マイボトルの利用 |
|--|--|--|



6. 2050カーボンニュートラル を目指して

弊社は2050年カーボンニュートラルを目指す、第1ステップとして「SDGs 2030ビジョン」を策定し取組み中です。

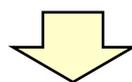
取組み	年度	～2025年度	2026～2030年度
SM(スマートメータ)の安定供給		第2世代SMへの切替	第2世代SMの安定供給
EMS、EV充電の普及促進		開発と普及促進	開発と更なる普及促進
EMS、EV充電、PV、蓄電池の設備構築と事業活用		千里丘事業所で実証設備構築し成果を製品へ反映	
直流マイクログリッドの普及促進		開発・試作を行い製品化と普及促進	
太陽光発電設備の増設		千里丘・京都への設置	本社・兵庫・佐用の事業所への設置
CO2排出量削減(Scope1.2)		2023年度比42%の削減	
社有車の電動化		2030年を目途に電動化を推進	
配送の効率化		製品や部品などの共同配送の推進	
プラスチック材料の4R		リサイクル推進と再資源化を目指した開発設計	
購入や納入時の通函化の推進		梱包用木材廃止と運搬用段ボールの再利用の推進	
ペーパーレス化		使用量50%削減	更なる使用量の削減

【2030年度CO2削減目標】（2025年3月に大崎電気グループでSBT認定を取得）

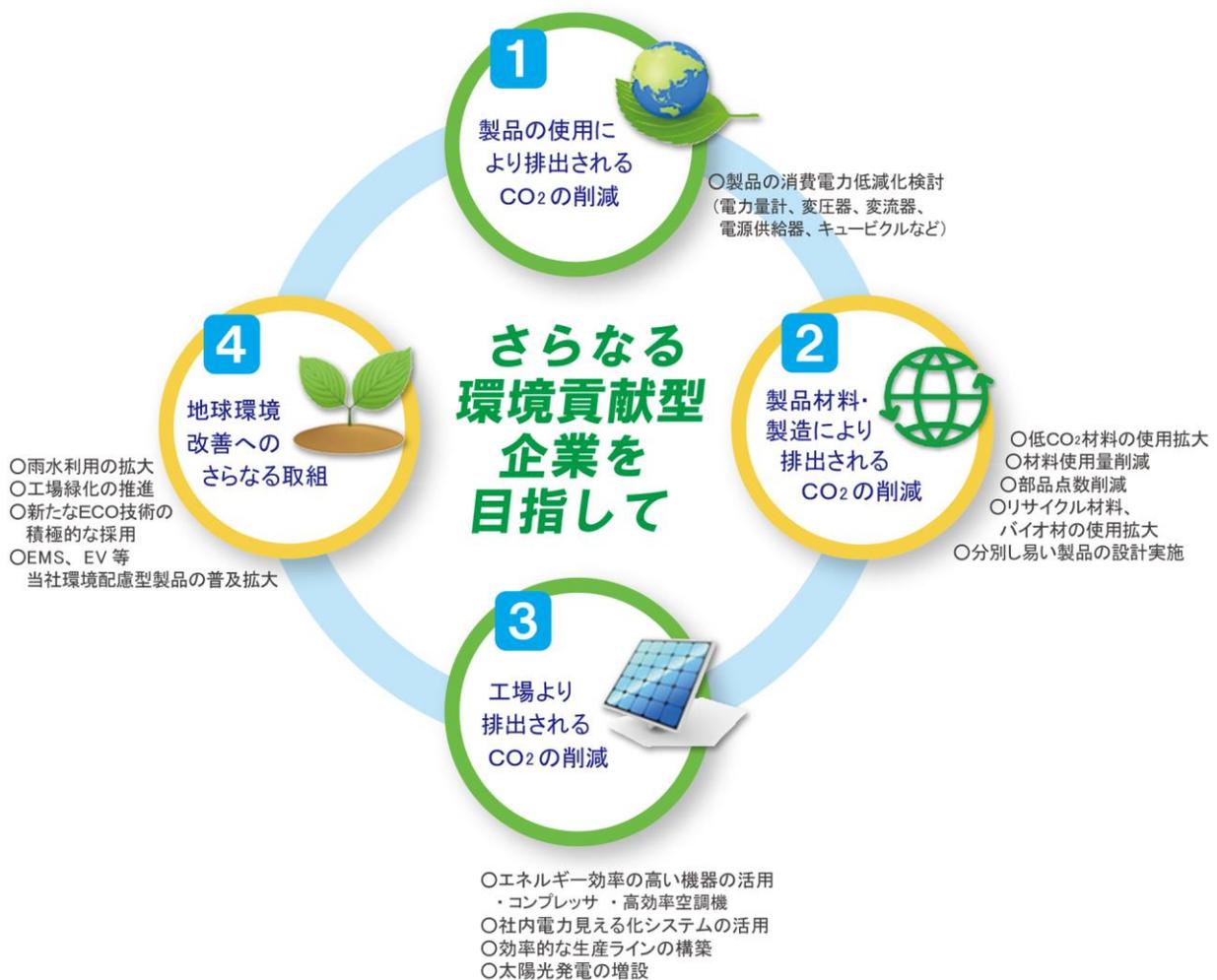
- ①Scope1, 2・・・2023年度比42%削減
- ②Scope3・・・2023年度比25%削減

弊社の主力製品であるスマートメータの安定供給やエネルギーマネジメントシステム、EV充電システムの普及促進だけでなく、太陽光発電設備の増設や社有車の電動化などを積極的に推進し、2050年カーボンニュートラルへの貢献を目指します。

なお、SDGsの達成年度である2030年に合わせ活動していますが、長期にわたるため、2026年の時点で目標を見直し進めていきます。



今後も、環境に優しい企業として、「環境負荷の少ない持続可能な社会の構築」を目指します。



株式会社 エネゲート

〒531-0077 大阪市北区大淀北 1-6-110

<https://www.enegate.co.jp/>

お問合せ先：千里丘事業所 品質保証室

TEL.06-6387-1237 FAX.06-6389-0577